

# 第135期 中間報告書

平成20年4月1日～平成20年9月30日



国際紙パルプ商事株式会社  
KOKUSAI PULP&PAPER CO.,LTD.

# 株主の皆様へ To Our Shareholders

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社第135期中間連結会計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）を終了いたしましたので、ここに当社グループの営業の概況ならびに中間決算についてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間における我が国経済は、米国のサブプライムローン問題を発端とした世界的な金融恐慌及び原油をはじめ石炭・製紙原料・薬品等の高止まりにより国内の景気も急速に悪化しております。

紙パルプ業界におきましても、経済の減速に加えて製紙メーカーの採算悪化から6月に大幅な価格修正を行なった結果、浸透はしたものの企業の宣伝費削減もありカタログ・チラシも減少しつつあります。また、出版業界におきましても不採算のものは休刊という状況になっております。

この結果、上半期の当グループの業績につきましては、数量は減少したものの価格修正効果があり売上高では2,137億44百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益は前年同期比7.2%減の20億62百万円、経常利益は前年同期比14.6%減の19億56百万円、中間純利益は前年同期比86.9%減の2億7百万円となりました。

今後の我が国経済は、日本経済を牽引してきた輸出や設備投資にも陰りが見えはじめ、物価上昇による個人消費の低迷による国内経済悪化の中で、世界的な金融恐慌の波及は日本の景気に下振れリスクをもたらす要因となりかねません。

紙パルプ業界におきましては、今夏の価格修正はほぼ決着したとは言え、原燃料費のコストアップ分を転化しきれず、更なる上昇も予想されることから追加の製品値上げを行なわなければならない状況にあります。

一方で、販売先への価格転嫁がなかなか進まない卸商やコンバーター段階では、更に収益悪化傾向が進んでおり、信用不安が深刻になりつつあります。

このような状況下、当社グループとしては、直面する厳しい市場・経営環境を踏まえ、紙流通として市場に一步踏み込んだ新しい機能を果すべく、営業力の強化及び収益基盤の拡充を図り、行動力を持って難局を乗り越え活動する所存であります。

今後は更なる効率化を図り、収益の確保に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、なお一層のご指導ご支援を賜ります様、お願い申し上げます。

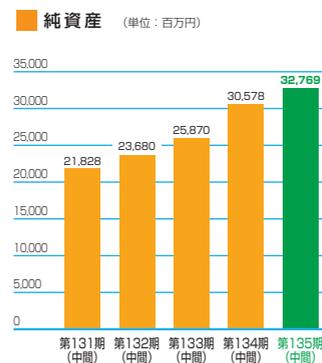
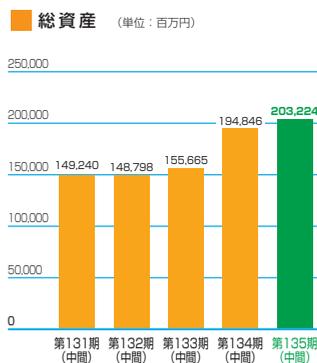
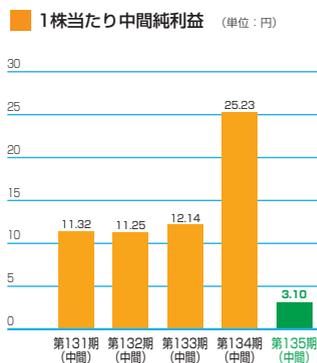
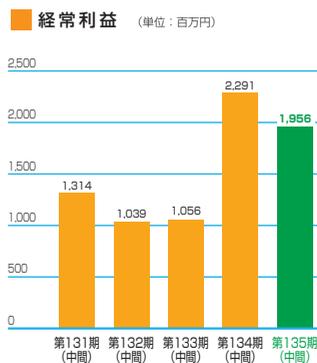
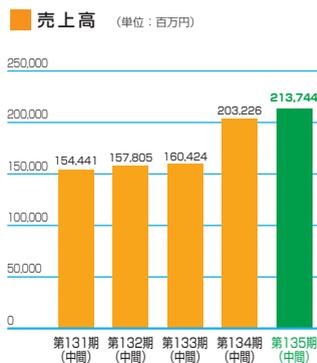
平成20年11月



代表取締役社長

赤松 恭夫

# 財務ハイライト(連結) Business Highlights



	第131期 (中間) 平成16年9月期	第132期 (中間) 平成17年9月期	第133期 (中間) 平成18年9月期	第134期 (中間) 平成19年9月期	第135期 (中間) 平成20年9月期
売上高 (百万円)	154,441	157,805	160,424	203,226	213,744
経常利益 (百万円)	1,314	1,039	1,056	2,291	1,956
中間純利益 (百万円)	606	602	649	1,592	207
1株当たり中間純利益 (円)	11.32	11.25	12.14	25.23	3.10
総資産 (百万円)	149,240	148,798	155,665	194,846	203,224
純資産 (百万円)	21,828	23,680	25,870	30,578	32,769
1株当たり純資産額 (円)	407.67	442.28	480.91	481.92	486.69

# ■ 営業の概況 Our Vision

当中間連結会計期間における我が国の経済状況は、平成14年から始まった景気拡大から後退局面に入り、個人消費・設備投資・輸出が揃って低調に推移しました。原燃料の高騰及び平成19年夏から続く米国のサブプライムローン問題を端緒に、経済構造の大きな変化が米国のみならず欧州や中国を始めとするアジアなど世界に拡がりました。

その世界的な景気減速の連鎖の中、特に深刻な欧米向け輸出の不振、中国向け輸出の伸びの低下が企業収益を圧迫し、家計収入の減少から個人消費もマイナスとなるなど国内企業も大きく影響を受け、景気減速感が強まりました。

紙業界では原燃料の高騰を受け、昨年に続き価格修正を6月から進めましたが、値上げによる影響や需要構造の変化から8・9月と2ヶ月連続、紙の国内出荷が前年割れとなり、特に9月は前年同月比で本年最大の減少となりました。

景気は弱含みで荷動きが悪く、カタログ・チラシ用塗工紙の在庫が大幅に増加いたしました。

このような厳しい状況の中、当社は提案型の営業力をさらに強化し、価格修正の浸透にも注力し、ユーザーにご理解を求めその実現を図ってまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の当社グループの業績につきましては、売上高は2,137億44百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は20億62百万円（前年同期比7.2%減）、経常利益は19億56百万円（前年同期比14.6%減）、中間純利益は2億7百万円（前年同期比86.9%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

## ＜紙パルプ等卸売事業＞

紙分野では、引き続き出版部門は雑誌を中心に発行部数の減少傾向と返本率上昇等厳しい環境にあります。商業印刷部門はカタログ・チラシが低調に推移いたしました。品種別では微塗工紙等薄物系塗工紙が半期を通して高い伸びを示したことは、塗工紙からの移行が加速しているものと思われます。一方板紙部門の段ボール原紙国内出荷は、夏季天候不順の影響等があり微減となりました。

この結果、売上高は2,130億97百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

## ＜不動産賃貸事業＞

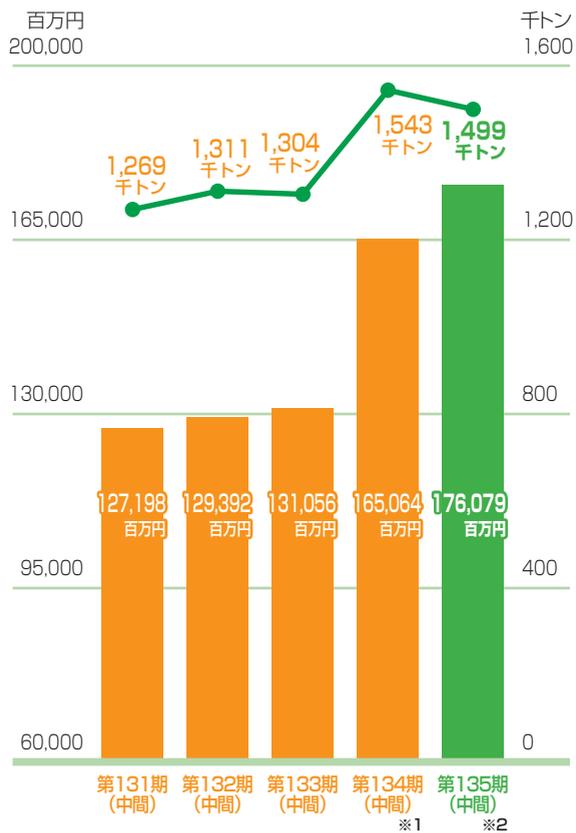
昨年まで堅調に推移していた不動産賃貸業界は、企業業績の先行き不透明感から急速に需給が緩み、東京圏独り勝ちの様相から、都心部の一部で地価が下落に転じる動きが出るなど楽観できない状況に変化してきております。

当社の主要賃貸物件である京橋ビルの建替えを前提としたテナント退去等もあり、全体としての賃料収入は微減となりました。

また保有不動産の活性化のため、新たに定期借地契約により旧京都支店跡地を賃貸することにいたしました。さらに資産の効率的運用のため札幌ビルにつきましては今期間中に売却いたしました。

結果として、売上高は6億47百万円（前年同期比4.5%減）となりました。

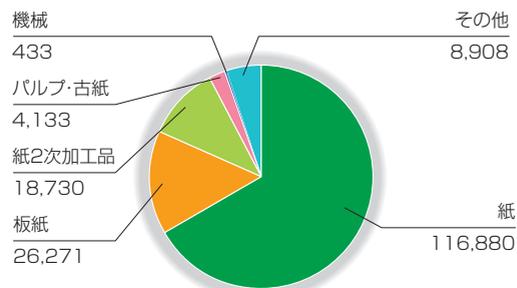
## ■ 個別売上高・売上数量推移



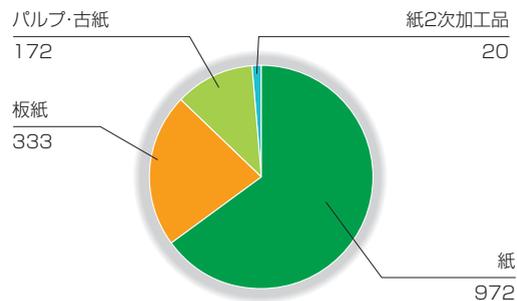
※1 平成18年10月1日 服部紙商事株式会社と合併いたしました。  
 ※2 平成19年10月1日 柏井紙業株式会社と合併いたしました。

## ■ 個別品種別商品売上高金額・数量割合実績 (第135期中間)

金額 (単位 / 百万円)



数量 (単位 / 千トン)



# 中間連結財務諸表

Financial Statements

## 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円、百万円未満は切捨て)

科目	当中間期 平成20年9月30日	前中間期 平成19年9月30日
<b>流動資産</b>	<b>155,966</b>	<b>145,986</b>
現金及び預金	2,233	2,597
受取手形及び売掛金	130,110	124,092
たな卸資産	20,926	15,622
繰延税金資産	1,362	1,256
その他	3,448	3,547
貸倒引当金	△ 2,114	△ 1,129
<b>固定資産</b>	<b>47,258</b>	<b>48,859</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>25,240</b>	<b>24,057</b>
建物及び構築物	7,079	6,987
土地	17,401	16,729
その他	759	339
<b>無形固定資産</b>	<b>521</b>	<b>892</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>21,496</b>	<b>23,910</b>
投資有価証券	18,552	21,621
繰延税金資産	487	268
その他	3,466	2,704
貸倒引当金	△ 1,010	△ 684
<b>資産合計</b>	<b>203,224</b>	<b>194,846</b>

(単位: 百万円、百万円未満は切捨て)

科目	当中間期 平成20年9月30日	前中間期 平成19年9月30日
<b>流動負債</b>	<b>152,830</b>	<b>146,926</b>
支払手形及び買掛金	106,861	108,091
1年内償還予定の社債	600	—
短期借入金	36,001	28,712
コマーシャル・ペーパー	5,000	5,000
未払法人税等	389	785
賞与引当金	862	950
役員賞与引当金	24	31
その他	3,090	3,355
<b>固定負債</b>	<b>17,624</b>	<b>17,341</b>
社債	450	—
長期借入金	9,003	8,202
繰延税金負債	4,052	4,950
退職給付引当金	763	648
役員退職慰労引当金	234	296
負ののれん	1,947	2,243
その他	1,173	1,000
<b>負債合計</b>	<b>170,454</b>	<b>164,268</b>
<b>株主資本</b>	<b>32,284</b>	<b>28,657</b>
資本金	3,442	3,192
資本剰余金	7,752	5,685
利益剰余金	21,103	19,789
自己株式	△ 14	△ 10
評価・換算差額等	315	1,800
その他有価証券評価差額金	634	1,945
繰延ヘッジ損益	△ 12	△ 27
為替換算調整勘定	△ 306	△ 117
少数株主持分	169	119
<b>純資産合計</b>	<b>32,769</b>	<b>30,578</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>203,224</b>	<b>194,846</b>

## 中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

科目	当中間期	前中間期
	平成20年4月1日～ 平成20年9月30日	平成19年4月1日～ 平成19年9月30日
売上高	213,744	203,226
売上原価	200,955	190,550
売上総利益	12,788	12,675
販売費及び一般管理費	10,726	10,453
営業利益	2,062	2,222
営業外収益	581	719
営業外費用	687	649
経常利益	1,956	2,291
特別利益	42	336
特別損失	1,225	158
税金等調整前中間純利益	772	2,469
法人税、住民税及び事業税	298	695
法人税等調整額	264	190
少数株主利益	2	8
中間純利益	207	1,592

## 中間連結キャッシュ・フロー(要旨)

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

区分	当中間期	前中間期
	平成20年4月1日～ 平成20年9月30日	平成19年4月1日～ 平成19年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,548	4,432
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 212	△ 395
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,731	△ 3,781
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 21	45
現金及び現金同等物の増加額(又は減少額(△))	△ 51	301
現金及び現金同等物の期首残高	2,199	2,186
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△ 59	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,088	2,487

## 中間連結株主資本等変動計算書

当中間期 平成20年4月1日～平成20年9月30日

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定		
平成20年3月31日 残高	3,442	7,882	21,426	△ 12	32,739	934	△ 8	△ 200	184	33,649
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△ 535		△ 535					△ 535
連結範囲の変動		△ 129	33		△ 95					△ 95
在外子会社の会計処理変更に伴う減少額			△ 28		△ 28					△ 28
中間純利益			207		207					207
自己株式の取得				△ 2	△ 2					△ 2
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額 (純額)						△ 300	△ 3	△ 106	△ 15	△ 425
中間連結会計期間中の 変動額合計	—	△ 129	△ 322	△ 2	△ 454	△ 300	△ 3	△ 106	△ 15	△ 879
平成20年9月30日 残高	3,442	7,752	21,103	△ 14	32,284	634	△ 12	△ 306	169	32,769

# 中間個別財務諸表

Financial Statements

## 中間個別貸借対照表

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

科目	当中間期 平成20年9月30日	前中間期 平成19年9月30日
<b>流動資産</b>	<b>137,302</b>	<b>127,321</b>
現金及び預金	806	821
受取手形	30,225	28,648
売掛金	81,872	78,480
商品	17,615	12,502
繰延税金資産	1,246	1,256
短期貸付金	6,799	6,682
その他	1,077	1,050
貸倒引当金	△ 2,339	△ 2,121
<b>固定資産</b>	<b>46,607</b>	<b>48,033</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>24,374</b>	<b>23,258</b>
建物	6,827	6,763
土地	16,845	16,264
その他	701	230
<b>無形固定資産</b>	<b>481</b>	<b>790</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>21,751</b>	<b>23,984</b>
投資有価証券	15,280	17,864
関係会社株式	4,020	4,097
その他	3,339	2,837
貸倒引当金	△ 890	△ 815
<b>資産合計</b>	<b>183,910</b>	<b>175,354</b>

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

科目	当中間期 平成20年9月30日	前中間期 平成19年9月30日
<b>流動負債</b>	<b>134,649</b>	<b>129,157</b>
支払手形	4,837	5,863
買掛金	93,288	91,252
一年内償還予定の社債	600	-
短期借入金	27,479	23,273
コマーシャル・ペーパー	5,000	5,000
未払法人税等	283	506
賞与引当金	780	850
役員賞与引当金	20	26
その他	2,360	2,385
<b>固定負債</b>	<b>17,401</b>	<b>16,736</b>
社債	450	-
長期借入金	9,000	8,010
繰延税金負債	4,041	4,838
退職給付引当金	624	437
役員退職慰労引当金	182	243
長期預り保証金	1,156	981
負ののれん	1,947	2,225
<b>負債合計</b>	<b>152,051</b>	<b>145,894</b>
<b>株主資本</b>	<b>31,246</b>	<b>27,548</b>
<b>資本金</b>	<b>3,442</b>	<b>3,192</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>7,750</b>	<b>5,553</b>
資本準備金	1,160	1,160
その他資本剰余金	6,590	4,393
<b>利益剰余金</b>	<b>20,068</b>	<b>18,812</b>
利益準備金	669	669
その他利益剰余金	19,398	18,143
固定資産圧縮積立金	1,280	1,318
海外投資等損失準備金	30	25
別途積立金	10,527	10,527
繰越利益剰余金	7,559	6,271
<b>自己株式</b>	<b>△ 14</b>	<b>△ 10</b>
評価・換算差額等	611	1,911
その他有価証券評価差額金	609	1,906
繰延ヘッジ損益	1	5
<b>純資産合計</b>	<b>31,858</b>	<b>29,460</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>183,910</b>	<b>175,354</b>

## 中間損益計算書(要旨)

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

科目	当中間期	前中間期
	平成20年4月1日～ 平成20年9月30日	平成19年4月1日～ 平成19年9月30日
売上高	176,079	165,064
売上原価	165,416	154,806
売上総利益	10,662	10,258
販売費及び一般管理費	9,239	8,757
営業利益	1,422	1,501
営業外収益	580	604
営業外費用	407	407
経常利益	1,595	1,697
特別利益	21	158
特別損失	417	42
税引前中間純利益	1,199	1,813
法人税、住民税及び事業税	188	462
法人税等調整額	260	185
中間純利益	750	1,165

## 中間財務指標(個別)

	当中間期	前中間期
売上高経常利益率	0.9%	1.0%
総資本経常利益率(ROA)	0.9%	1.0%
株主資本純利益率(ROE)	2.4%	3.9%
株主資本比率	17.3%	16.8%

## 中間株主資本等変動計算書

当中間期 平成20年4月1日～平成20年9月30日

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	
平成20年3月31日 残高	3,442	7,750	19,853	△ 12	31,034	776	7	31,818
中間会計期間中の変動額								
剰余金の配当			△ 535		△ 535			△ 535
中間純利益			750		750			750
自己株式の取得				△ 2	△ 2			△ 2
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)						△ 166	△ 5	△ 172
中間会計期間中の変動額合計	—	—	214	△ 2	212	△ 166	△ 5	40
平成20年9月30日 残高	3,442	7,750	20,068	△ 14	31,246	609	1	31,858

# ■ TOPIX

## ■ ギフト・ショーに出展 ■

当社は、9月2日～5日に東京ビックサイトで開催されました「第66回東京国際ギフト・ショー」に出展いたしました。今回は「クロスメディア革命 買わせるツールおいてます」と題しまして、消費行動からの販売促進ツールと環境関連セールスプロモーション商品を中心に展示し、千名を超える多くの方々にお立ち寄り頂きました。また今回の出展に伴い、当社ブースへの来場者・当社説明員が使用した交通手段や機材運搬等から排出されるCO<sub>2</sub>量を算出し、国連認証の削減効果と相殺するカーボンオフセットを行い、注目を浴びました。



## ■ 南通プロジェクトに参加 ■

当社は、本年6月、王子製紙株式会社が展開する中国南通プロジェクトの販売会社である王子制紙商貿(中国)有限公司に共同出資いたしました。王子製紙の中国現地法人江蘇王子製紙有限公司の工場は2010年の稼働をめざしておりますが、それに先立ちプレセールを行い、中国における王子ブランドの浸透を図ります。従来当社が中国で培ってきた販売ノウハウを生かしつつ、大市場中国への拡販に邁進して参ります。

## ■ 四川大地震に対する支援 ■

去る5月12日、中国四川省で発生した大地震では、不幸にして多くの方々被災されました。当社では被災者の方々に対しまして心よりお見舞い申し上げますとともに、日中文化交流協会を通じまして100万円の救援金の提供を実施いたしました。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

# 株式の状況・会社概要

Stock Information · Corporate Profile

## 株式の状況（平成20年9月30日現在）

発行可能株式総数	267,500,000株
発行済株式の総数	66,983,465株※
当期末株主数	1,090名

※ 自己株式43,941株を除く。

## 大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
王子製紙株式会社	12,736	19.0
日本製紙株式会社	6,028	8.9
株式会社みずほコーポレート銀行	2,857	4.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,625	3.9
株式会社三井住友銀行	2,625	3.9
農林中央金庫	2,625	3.9
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,180	3.2
北越製紙株式会社	1,851	2.7
国際紙パルプ商事従業員持株会	1,842	2.7
三井住友海上火災保険株式会社	1,829	2.7

## 取締役及び監査役（平成20年9月30日現在）

代表取締役会長	鈴木 光
代表取締役社長	赤松 恭夫
専務取締役	田辺 円
常務取締役	日置 宗孝 島田 敏 今堀 章
取締役	高田 正博 大橋 雄二 垣津 雅義 西村 邦敏 田中 康友 原 敬三 桜井 光明 鈴木 正宣
取締役(非常勤)	富岡 孝雄
常任監査役(常勤)	名越 响一
監査役(常勤)	小林 圭介 有岡 芳明
監査役	小林 敏郎

## 会社の概況（平成20年9月30日現在）

社名	国際紙パルプ商事株式会社
設立	1924年(大正13年)12月1日
本社	東京都中央区明石町6番24号
従業員数	716名

## 営業拠点

大阪支店	〒541-0052 大阪市中央区安土町1-8-6
名古屋支店	〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-20
九州支店	〒812-0039 福岡市博多区冷泉町7-15
京都支店	〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入 京都三井ビル
仙台支店	〒980-0021 仙台市青葉区中央2-2-10 仙都会館ビル
札幌支店	〒060-0002 札幌市中央区北2条西2-1-5 リージェントビル
神戸支店	〒650-0001 神戸市中央区加納町4-10-21
広島営業所	〒730-0013 広島市中区八丁堀2-31 広島鴻池ビル

ケービービー中国【Kokusai Pulp & Paper (China) Company Limited】  
中華人民共和国 上海市婁山関路83号 新虹橋中心大厦 第28層2801室  
・北京支店

## 海外部門

(株)ダイエイペーパーズインターナショナルコーポレーション  
〒104-0044 東京都中央区明石町6-24  
・ソウル支店

